

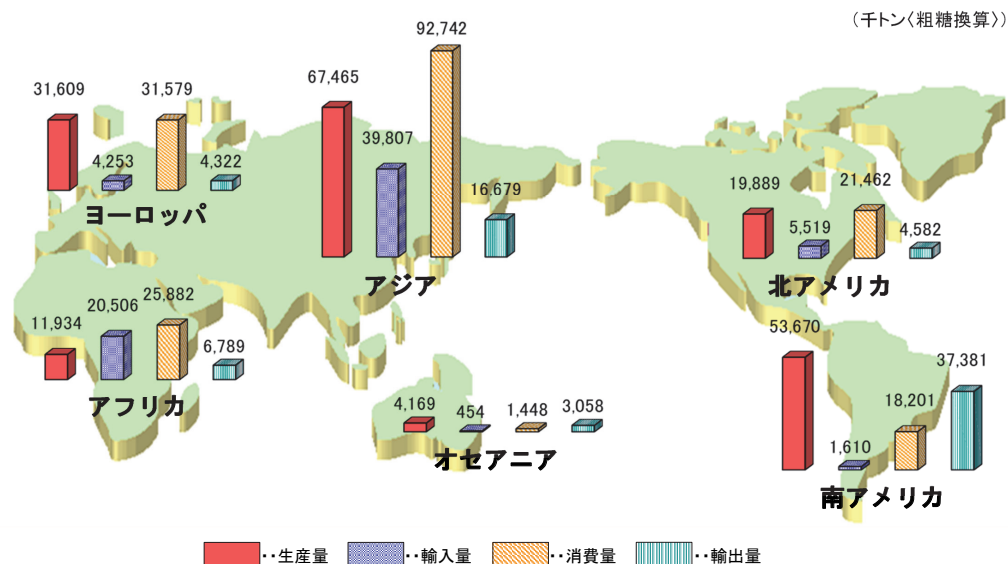


砂糖の国際需給

調査情報部 福寿 悠星

1 世界の砂糖需給（2025年9月時点予測）

図1 絵で見る世界の地域別砂糖需給（2024/25年度予測値）



資料：英国の民間調査会社GlobalData UK Ltd.「Quarterly Statistical Update, September 2025」を基に農畜産業振興機構作成

注1：年度は、国際砂糖年度（10月～翌9月）。

注2：ヨーロッパには、ロシアを含む。

表 世界の砂糖需給の推移

(単位：千トン〈粗糖換算〉、%)

年度	期首在庫量	生産量	輸入量	消費量	輸出量	期末在庫量	期末在庫率
1994/95	48,811	116,772	31,637	112,814	32,460	51,947	46.0
1999/00	68,474	133,241	36,641	127,777	39,769	70,810	55.4
2004/05	71,844	144,278	47,196	146,617	50,926	65,775	44.9
2009/10	65,134	159,905	55,849	164,372	56,130	60,386	36.7
2014/15	77,309	183,662	60,955	177,050	62,308	82,567	46.6
2019/20	91,985	181,845	69,534	182,794	71,597	88,973	48.7
2020/21	88,973	181,966	66,814	185,536	68,005	84,211	45.4
2021/22	84,211	186,377	69,340	188,690	71,058	80,179	42.5
2022/23	80,179	190,628	70,743	190,671	70,948	79,931	41.9
2023/24	79,931	195,726	76,235	191,115	76,722	84,055	44.0
2024/25 (2025年9月予測)	84,055	188,735	72,148	191,314	72,811	80,813	42.2

資料：GlobalData UK Ltd.「Quarterly Statistical Update, September 2025」

注1：年度は国際砂糖年度（10月～翌9月）。

注2：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注3：期末在庫量は（期首在庫量＋生産量＋輸入量－消費量－輸出量）。

注4：期末在庫率は、期末在庫量を消費量で除した割合。

「世界の砂糖需給」および「主要国の砂糖需給」は四半期ごとの更新となっていますので、次回は2026年1月号の掲載となります。直近の内容は2025年10月号をご参照ください。

「世界の砂糖需給」：https://www.alic.go.jp/joho-s/joho07_003411.html

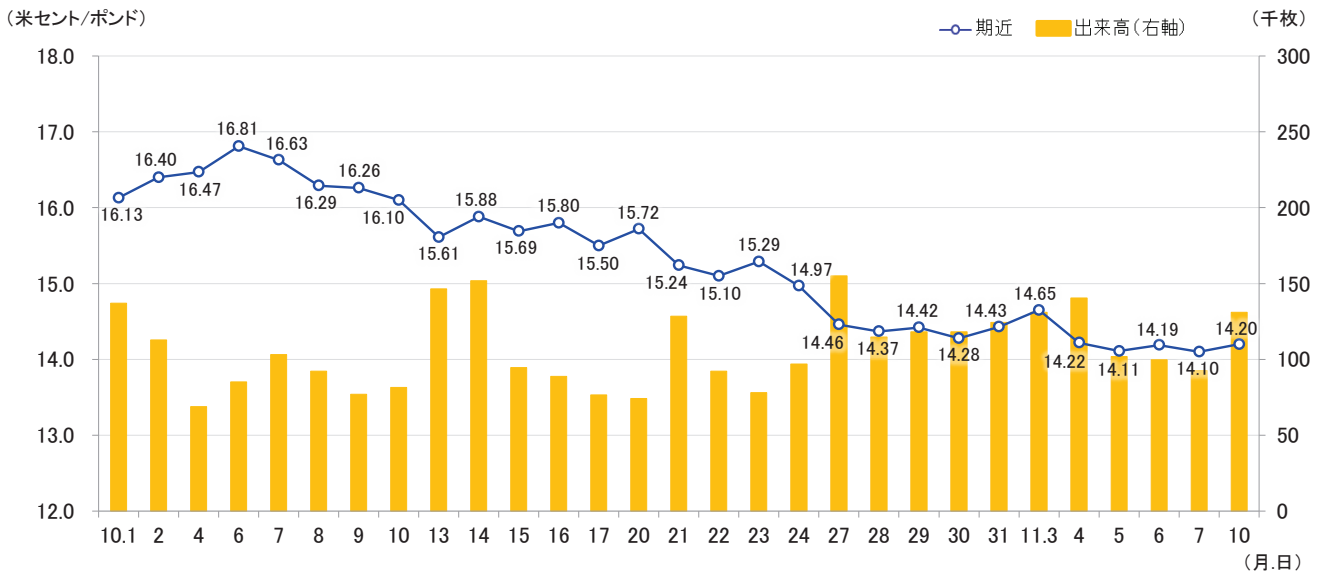
「主要国の砂糖需給」：https://www.alic.go.jp/joho-s/joho07_003412.html

2 国際価格の動向

ニューヨーク粗糖先物相場の動き（10/1～11/10）

～世界的な砂糖余剰予測などから1ポンド当たり14セント台を記録～

図 ニューヨーク粗糖先物相場の動き



資料：インターコンチネンタル取引所
注：期近3月限の値。

2025年10月のニューヨーク粗糖先物相場（3月^{がつ}限）の推移を見ると、1日は1ポンド当たり16.13セント^{きり}（注1）とした後、2日以降はブラジルのサトウキビ糖度減少に起因する減産懸念から上昇し、6日は同16.81セントをつけた。7日以降は25/26年度の世界적인砂糖余剰予測により下落し、13日は原油安^{（注2）}とリアル安^{（注3）}により、同15.61セントとさらに値を下げた。14日以降はドル安などで一時的な反発があったものの、世界的な砂糖余剰予測に加え、26/27年度のブラジルの砂糖増産見通しから下落し、22日は同15.10セントをつけた。23日は原油高で上昇したが、24日以降は世界的な砂糖余剰予測により軟調となり、24日は同14.97セントと約4年7カ月ぶりとなる14セント台を記録し、31日は同14.43セントをつけた。

11月に入ると、3日はショートポジション^{（注4）}をカバーするための買い戻しにより、同14.65セン

トと上昇した。4日以降は25/26年度のブラジル産およびインド産の増産見通しから下落に転じ、10日は同14.20セントとなった。

（注1）1ポンドは約453.6グラム、1米セントは1米ドルの100分の1。

（注2）一般に、原油価格が下落すると、石油の代替燃料であるバイオエタノールの需要も減少する。バイオエタノールの需要減少により、その原料作物（サトウキビ、てん菜など）のバイオエタノール生産への仕向けが減る一方、それらから生産される食品（サトウキビの場合は砂糖）の生産・供給が増えると想定される。食品用途仕向けの度合いが大きくなるほど需給が緩和し、当該食品の価格を押し下げる方向に作用する。

（注3）粗糖は米ドル建てで取引されるため、米ドルに対してリアルが下落すると、相対的にブラジル産粗糖の価格競争力が高まる。世界最大の砂糖輸出国ブラジルの輸出意欲が高まると、需給の緩和につながることから、価格を押し下げる方向に作用する。

（注4）将来の値下がりを期待して売りの持ち高を取っている状態。

3 世界の砂糖需給に影響する各国の動向（2025年11月時点予測）

ブラジル

2025/26年度（4月～翌3月）の見通し	
【サトウキビ】	【砂糖（甘しや糖）】
収穫面積：874万ha（前年度比1.2%減）	生産量：4622万トン（同2.1%減）
生産量：6億4850万トン（同4.4%減）	輸出量：3547万トン（同2.0%減）

2025/26年度の砂糖生産量および輸出量はわずかな減少を見込む

2025/26年度（4月～翌3月）のサトウキビ収穫面積は、1～3月の降水量が平均を下回ったことや圃場の更新により、874万ヘクタール（前年度比1.2%減）とわずかな減少が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、前年度の火災の影響のほか、年初からの干ばつ傾向に加え、6月と7月に中南部で局所的に発生した霜害などにより、単収が前年度を下回るとの見通しから、6億4850万トン（同4.4%減）とやや減少が見込まれている。

砂糖生産量は、世界の砂糖相場下落とエタノール価格の上昇による砂糖の収益性の低下に加え、北部・北東部では降雨による生産遅延が発生していることから、4622万トン（同2.1%減）とわずかな減少が見込まれている。砂糖輸出量は、3547万トン（同2.0%減）とわずかな減少が見込まれているが、引き続き国際市場でのブラジル産砂糖に対する堅調な需要が見込まれている。現地報道によると、10月の砂糖輸出量は月間の輸出量としては過去最高の420万トンを達成した。

表 ブラジルの砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

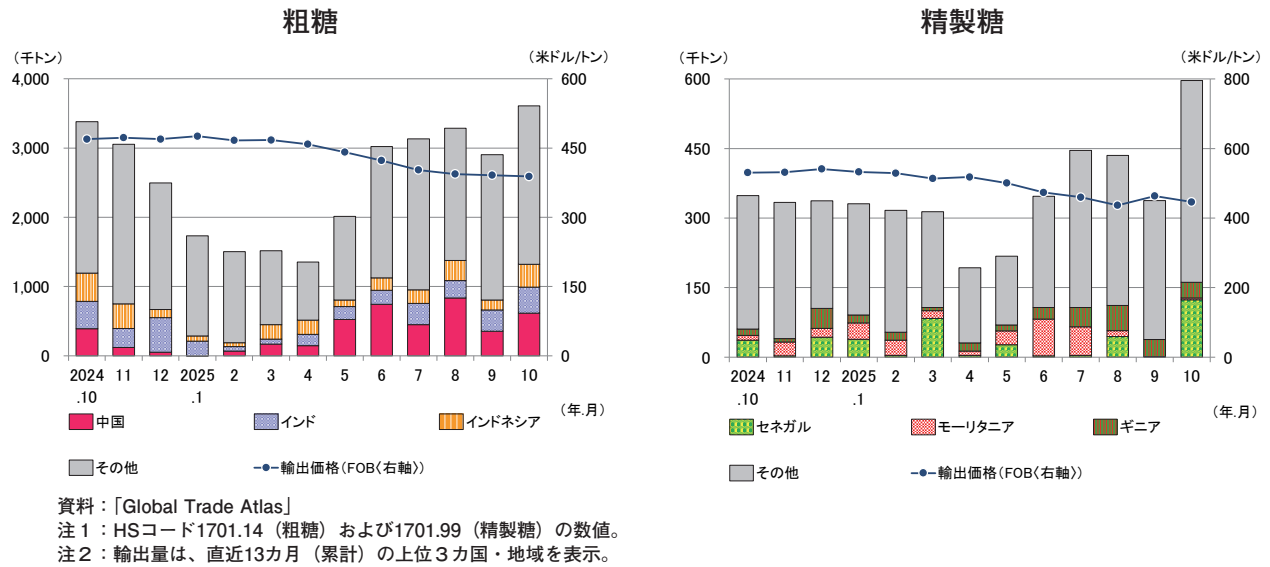
年度		2022/23	2023/24	2024/25	2025/26 （10月予測）	2025/26 （11月予測）	前年度比 （増減率）
サトウキビ収穫面積		8,440	8,408	8,844	8,718	8,743	▲ 1.2
サトウキビ生産量		606,676	713,134	678,676	643,500	648,500	▲ 4.4
砂糖	生産量	39,700	49,320	47,190	46,440	46,220	▲ 2.1
	輸入量	2	5	4	5	5	8.3
	消費量	10,924	10,965	10,751	10,751	10,751	0.0
	輸出量	28,888	37,393	36,176	35,689	35,466	▲ 2.0
	期末在庫量	2,233	3,200	3,467	3,471	3,474	0.2
	期末在庫率	5.6	6.6	7.4	7.5	7.5	0.1ポイント増

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, November 2025」

注1：2023/24年度および2024/25年度の数値は推定値、2025/26年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) ブラジルの砂糖（粗糖・精製糖別）の輸出量および輸出価格の推移



インド

2025/26年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：527万ha（前年度比0.5%増）

生産量：4億3607万トン（同11.9%増）

【砂糖（甘しゅ糖）】

生産量：3355万トン（同19.2%増）

輸出量：345万トン（同15.1%減）

2025/26年度の砂糖生産量は大幅な増加見込み

2025/26年度（10月～翌9月）のサトウキビ収穫面積は、24年のモンスーンによる降雨がサトウキビの作付けに有利に働いたことから、527万ヘクタール（前年度比0.5%増）とわずかに増加が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、1）25年のモンスーンが収量向上に寄与したこと、2）マハラシュトラ州など一部地域で発生した洪水の影響が長期的なものではないとの推測から、4億3607万トン（同11.9%増）とかなり大きく増加が見込まれている。

砂糖生産量は、マハラシュトラ州など主要生産州でのサトウキビ増産により、3355万トン（同19.2%増）と大幅な増加が見込まれている。砂糖輸出量は、345万トン（同15.1%減）とかなり大

きく減少が見込まれている。同国政府は11月14日に25/26年度分として150万トンの砂糖輸出を許可したものの、業界関係者からは、世界の砂糖相場が下落し、国内価格よりも低い状況では、すぐに輸出が開始されることはないという声も上がっている（注）。

（注）詳細については、2025年11月26日付け海外情報「インド政府が150万トンの砂糖輸出を許可（インド）」＜https://www.alic.go.jp/chosa-c/joho01_004240.html＞をご参照ください。



表 インドの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

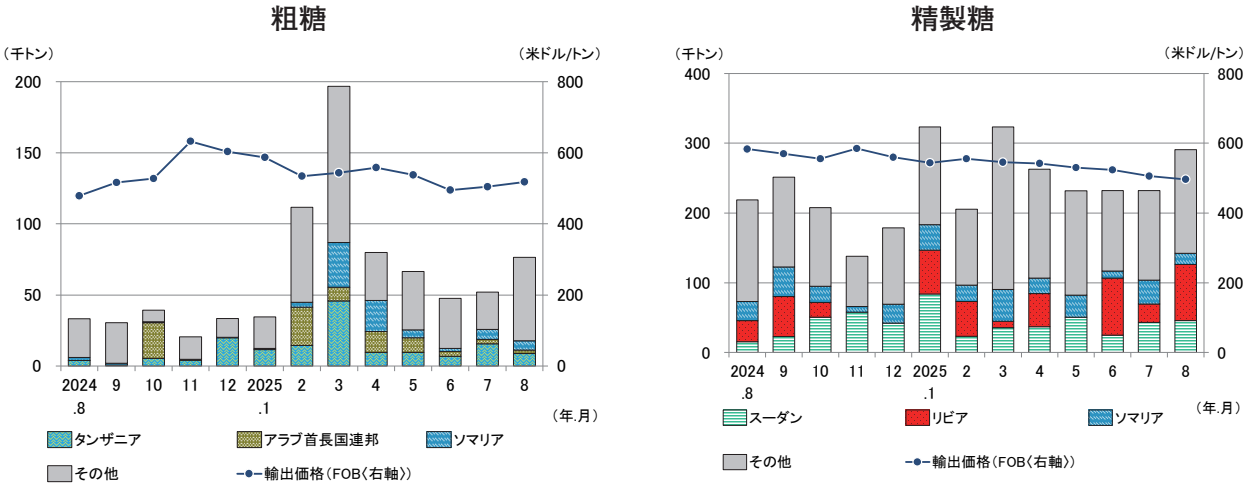
年度	2022/23	2023/24	2024/25	2025/26 (10月予測)	2025/26 (11月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	5,441	5,544	5,243	5,272	5,272	0.5
サトウキビ生産量	455,898	443,707	389,847	436,069	436,069	11.9
砂糖	生産量	35,389	34,677	28,132	33,405	19.2
	輸入量	1,687	3,130	2,799	2,988	4.5
	消費量	30,078	31,093	29,970	30,695	2.7
	輸出量	8,646	4,384	4,068	5,129	▲ 15.1
	期末在庫量	6,286	8,616	5,509	6,378	40.6
	期末在庫率	16.2	24.3	16.2	17.8	22.6
						6.4ポイント増

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, November 2025」

注1：2023/24年度および2024/25年度の数値は推定値、2025/26年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) インドの砂糖（粗糖・精製糖別）の輸出量および輸出価格の推移



中国

2025/26年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：123万ha（前年度比4.2%増）

生産量：7949万トン（同8.1%増）

【てん菜】

収穫面積：21万ha（同2.8%減）

生産量：1098万トン（同18.4%減）

【砂糖（甘しゅ糖およびてん菜糖）】

生産量：1209万トン（同0.2%増）

輸入量：561万トン（同14.0%減）

2025/26年度の砂糖輸入量はかなり大きく減少する見込み

2025/26年度（10月～翌9月）のサトウキビの収穫面積は、123万ヘクタール（前年度比4.2%増）とやや増加が見込まれている（表）。サトウキビ生

産量は、主産地で多雨が懸念されているものの、サトウキビの生育は良好とされ、7949万トン（同8.1%増）とかなりの程度増加が見込まれている。

てん菜収穫面積は、前年度の記録的増加からやや落ち着きを見せ、21万ヘクタール（同2.8%減）と

わずかな減少が見込まれている。てん菜生産量は、内モンゴル自治区での豪雨と降雪による収穫遅延が糖分低下につながる恐れがあることから、1098万トン（同18.4%減）と大幅な減少が見込まれている。

砂糖生産量は、サトウキビ増産をてん菜の減産が打ち消すことで1209万トン（同0.2%増）と前年同月並みが見込まれている。砂糖輸入量は、引き続

き国内の需給ギャップを埋めるために一定の輸入が予想されるが、国内生産の改善見通しから、561万トン（同14.0%減）とかなり大きく減少が見込まれている。しかし、世界の砂糖相場が下落し、国内産と関税割当枠外で輸入される砂糖との価格差が縮小する中、9月の粗糖輸入量は、52万トン（前年同月比37.8%増）と大幅に増加した。

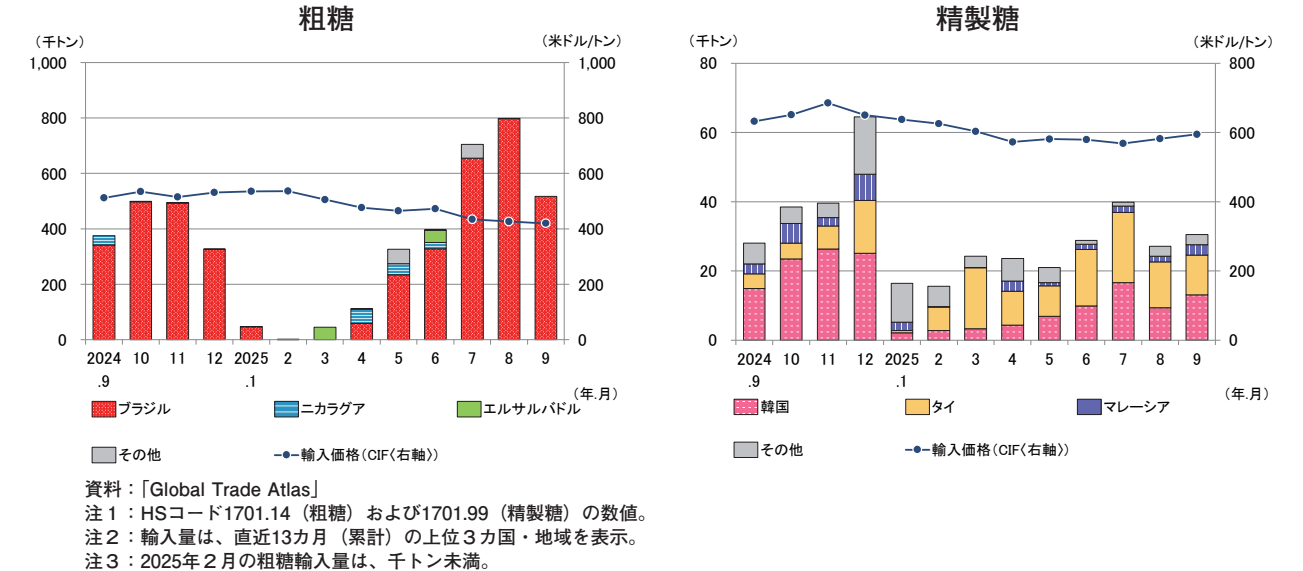
表 中国の砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

年度	2022/23	2023/24	2024/25	2025/26 (10月予測)	2025/26 (11月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	1,102	1,095	1,180	1,230	1,230	4.2
サトウキビ生産量	62,595	73,132	73,537	79,485	79,490	8.1
てん菜収穫面積	182	167	216	210	210	▲ 2.8
てん菜生産量	8,719	9,377	13,460	10,997	10,979	▲ 18.4
砂糖	生産量	9,699	10,773	12,067	12,089	0.2
	輸入量	5,890	7,456	6,524	4,999	▲ 14.0
	消費量	16,578	16,740	17,064	17,172	0.6
	輸出量	201	179	170	156	▲ 12.1
	期末在庫量	14,232	15,542	16,899	16,710	2.2
	期末在庫率	84.8	91.9	98.1	96.4	1.7ポイント増

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, November 2025」
注1：2023/24年度および2024/25年度の数値は推定値、2025/26年度の数値は予測値。
注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) 中国の砂糖（粗糖・精製糖別）の輸入量および輸入価格の推移



E U

2025/26年度（10月～翌9月）の見通し

【てん菜】

収穫面積：141万ha（前年度比10.4%減）

生産量：1億1230万トン（同3.6%減）

【砂糖（てん菜糖）】

生産量：1703万トン（同1.6%減）

輸入量：188万トン（同27.9%増）

2025/26年度の砂糖輸入量は大幅な増加見込み

2025/26年度（10月～翌9月）のてん菜収穫面積は、生産量上位国であるフランス、ドイツ、ポーランドを中心に各国で減少が見込まれることから、141万ヘクタール（前年度比10.4%減）とかなりの程度減少が見込まれている（表）。てん菜生産量は、フランスが単収の向上、ドイツが糖度の改善をそれぞれ見込んでいるものの、作付面積の減少により、1億1230万トン（同3.6%減）とやや減少が見込ま

れている。

砂糖生産量は、てん菜生産量の減少を背景に1703万トン（同1.6%減）とわずかな減少が見込まれている。砂糖輸入量は、EU域内の砂糖価格が下落する中、依然として無税枠を利用した砂糖輸入が可能な状況にあり、精製糖企業による相当量の輸入契約が既に締結されていることが明らかになったことから、188万トン（同27.9%増）と大幅な増加が見込まれている。

表 EUの砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

年度	2022/23	2023/24	2024/25	2025/26 (10月予測)	2025/26 (11月予測)	前年度比 (増減率)
てん菜収穫面積	1,398	1,447	1,569	1,407	1,405	▲ 10.4
てん菜生産量	99,760	109,898	116,458	110,762	112,295	▲ 3.6
砂糖	生産量	15,480	16,313	17,308	16,799	▲ 1.6
	輸入量	3,269	2,180	1,470	1,266	27.9
	消費量	17,227	16,237	16,454	16,454	0.0
	輸出量	925	2,206	2,074	2,128	5.2
	期末在庫量	2,139	2,190	2,440	1,788	11.1
	期末在庫率	11.8	11.9	13.2	9.6	14.5
						1.4ポイント増

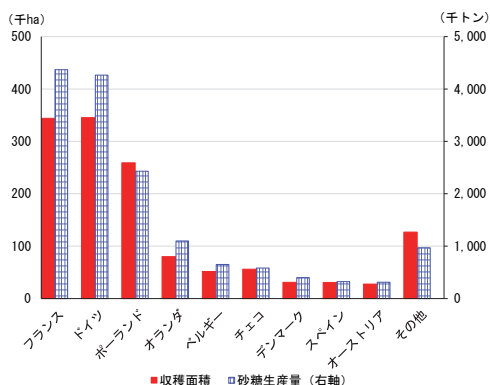
資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, November 2025」

注1：2023/24年度および2024/25年度の数値は推定値、2025/26年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

（参考）EUの砂糖生産量および国別の生産割合の見通し（2025/26年度）（2025年9月時点）

砂糖生産量

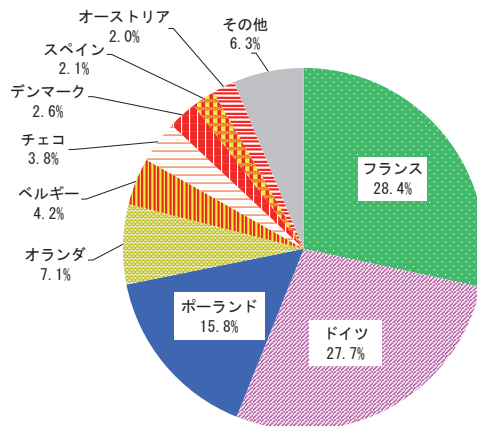


資料：欧州委員会

注1：精製糖換算。

注2：数値は予測値。

国別生産割合



資料：欧州委員会

4 日本の主要輸入先の動向（2025年11月時点予測）

近年、日本の粗糖（甘しゅ糖・分みつ糖＜HSコード1701.14－110＞および甘しゅ糖・その他＜同1701.14－200＞の合計）の主要輸入先は、豪州およびタイである。2024年の主要輸入先の割合を見ると、豪州が90.2%（前年比1.4ポイント減）、タイが9.7%（同1.3ポイント増）と、両国でほぼ全量を占めている（財務省「貿易統計」）。

豪 州

2025/26年度（4月～翌3月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：35万ha（前年度比0.0%増）

生産量：2964万トン（同7.0%増）

【砂糖（甘しゅ糖）】

生産量：410万トン（同8.4%増）

輸出量：311万トン（同7.3%増）

2025/26年度の砂糖生産量および輸出量はかなりの程度増加する見込み

2025/26年度（4月～翌3月）のサトウキビ収穫面積は、35万ヘクタール（前年度比0.0%増）と前年度並みが見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、一定の労働力確保に加え、前年度より生育に適した天候になるとの見通しから、2964万トン（同7.0%増）とかなりの程度増加が見込まれている。一部地域では過湿による収穫遅延があったものの、7月の降水量が平年を大幅に下回ったことで収穫進度が加速し、現在の収穫進捗率は9割弱とされる。

砂糖生産量は、CCS^{（注）}が収穫の進捗に伴い改善され、現在は前年度を上回る状況であることや、サトウキビ増産と製糖工場の順調な稼働状況から、410万トン（同8.4%増）とかなりの程度増加が見込まれている。砂糖輸出量は、アジア地域向けを中心に引き続き多くの需要があることから、311万トン（同7.3%増）とかなりの程度増加が見込まれている。

（注）Commercial Cane Sugar（可製糖率）の略。サトウキビのショ糖含有率、繊維含有率および搾汁液の純度から算出される回収可能な糖分の割合。

表 豪州の砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

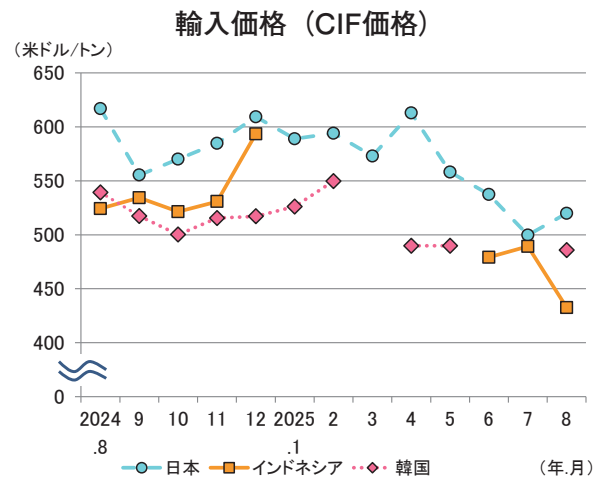
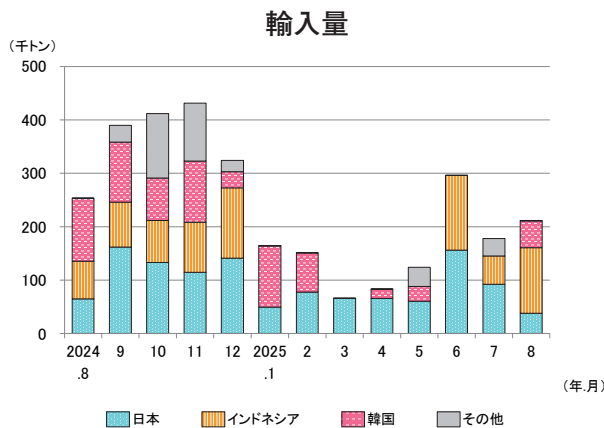
年度		2022/23	2023/24	2024/25	2025/26 (10月予測)	2025/26 (11月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積		331	341	345	345	345	0.0
サトウキビ生産量		32,593	29,274	27,700	29,794	29,641	7.0
砂糖	生産量	4,298	4,128	3,780	4,018	4,096	8.4
	輸入量	8	10	14	12	12	▲ 16.9
	消費量	996	997	999	1,014	1,001	0.2
	輸出量	3,292	3,700	2,896	3,030	3,107	7.3
	期末在庫量	987	427	327	205	327	▲ 0.0
	期末在庫率	23.0	9.1	8.4	5.1	7.9	0.4ポイント減

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, November 2025」

注1：2023/24年度および2024/25年度の数値は推定値、2025/26年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) 主要国の豪州産砂糖（粗糖）の輸入量および輸入価格の推移



資料：輸入量はGlobalData UK Ltd.「Monthly Sugar Information in Major Countries, November 2025」、輸入価格は「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）の数値。

注2：直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域とその他の輸入量を表示。

その他は上位3カ国・地域を除いた国・地域の合計。

ただし、GlobalData UK Ltd.の資料に掲載されている国・地域となる。

注3：豪州の輸出に関する月別の統計情報は公表されていないため、主要輸入国の月別の輸入に関する統計情報に基づき作成。

注4：韓国の25年3月、6月、7月の輸入量は実績なし。

注5：インドネシアの25年1月、2月、3月、4月、5月の輸入量は実績なし。

タイ

2025/26年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：157万ha（前年度比2.2%増）

生産量：9750万トン（同5.9%増）

【砂糖（甘しや糖）】

生産量：1143万トン（同8.0%増）

輸出量：904万トン（同29.8%増）

2025/26年度の砂糖生産量はかなりの程度、 輸出量は大幅な増加見込み

2025/26年度（10月～翌9月）のサトウキビ収穫面積は、157万ヘクタール（前年度比2.2%増）とわずかな増加が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、一部地域で集中豪雨に見舞われたものの、収穫前の乾燥した天候が収量に有利に働くことで、9750万トン（同5.9%増）とやや増加が見込まれている。また、サトウキビ・砂糖委員会事務局（OCSB）は、25/26年度の焼き畑収穫^{（注）}の割合を24/25年度の14.86%から10%以下まで引き下

げることを目標とし、製糖工場における焼き畑収穫サトウキビの受け入れ制限、サトウキビ生産者の農業機械購入支援などを実施するとしている。

砂糖生産量は、サトウキビ増産により、1143万トン（同8.0%増）とかなりの程度増加が見込まれている。砂糖輸出量は、ブラジル産の輸出量減少が見込まれる中、砂糖の増産を背景に904万トン（同29.8%増）と大幅な増加が見込まれている。

（注）サトウキビの^{しょうとうぶ}梢頭部や葉を燃やした後に収穫する方法。

表 タイの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

年度	2022/23	2023/24	2024/25	2025/26 (10月予測)	2025/26 (11月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	1,514	1,475	1,541	1,574	1,574	2.2
サトウキビ生産量	93,888	82,167	92,043	97,500	97,500	5.9
砂糖	生産量	11,688	9,315	10,579	11,428	8.0
	輸入量	282	249	375	100	▲ 73.3
	消費量	3,348	3,186	3,220	3,249	0.5
	輸出量	8,002	5,888	6,963	9,105	29.8
	期末在庫量	2,570	3,060	3,831	3,091	▲ 19.5
	期末在庫率	22.6	33.7	37.6	25.0	12.5ポイント減

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, November 2025」

注1：2023/24年度および2024/25年度の数値は推定値、2025/26年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) タイの砂糖（粗糖・精製糖別）の輸出量および輸出価格の推移

